

第3回加賀市ビジョン策定委員会（9/3）議事録抜粋

9/3 資料3 加賀市ビジョン素案（構成要素）にかかる意見等

1. 言葉遣い・概念・見せ方の改善に関する意見

【文言重複・用語・主語の指摘】

- ・「幸せを実感する」の重複：メッセージ内で2行に渡る文言重複への違和感 [P3]
- ・「今だけでなく」の精査：「将来にわたって」で十分伝わるのではないか。 [P7]
- ・主語の拡大：高齢者向けに見える「子や孫の世代とともに」を「世代まで」等へ拡大 [P7]

【「ウェルビーイング」・見せ方】

- ・市民目線での分かりにくさ：市民に通じる表現に修正等が必要。⇒ 一般的な用語として不要 [P3、7]
- ・重複記載の削除：メッセージにあれば基本理念(政策の柱) ページには不要 [P3、7]
- ・「全国的」の変更：人口減少等を全国的と書くと他人事に見える。加賀市の課題と明確化 [P3]
- ・図表の視認性：補色活用やイラストで分かりやすくする。 [P6]

2. 多様な生き方・自然・歴史姿勢に関する意見

【多様性と若者・姿勢の評価】

- ・固定概念の排除：「就職・結婚・出産」の順序指定は画一的。「自分らしい生き方」へ。 [P15]
- ・若者の選択肢：暮らす場所だけでなく「働く場所」も追加 [P7]
- ・姿勢の順序：「未来に挑戦」→「過去から学ぶ」より「過去に学び、未来へ」の順が自然 [P6、11、12]
- ・挑戦における「人」：新産業挑戦が市民生活向上にどう繋がるか「人」の視点を明示 [P6、12]

【自然環境・表記の具体性】

- ・「里海」と「海岸」：一般的な「里山・里海」ではなく「海岸」とした意図の確認 [P9]
- ・柴山潟と「育み守る」：自然環境に柴山潟もイメージ。「育む」に「地域で守る」意味も含める。 [P9]
- ・表記統一：「子ども」と「こども」の表記ゆれ、教育ビジョン「確実に」の文脈精査 [P15]

3. 地域固有資源・基幹産業・まちづくり・市民参画

対象テーマ	具体的な意見・指摘内容
温泉・伝統産業・観光 [P13]	・「3温泉」や「伝統産業(漆器・九谷焼等)」の文言が欠落しており不自然。歴史・文化資産だけでなく「伝統産業・芸能」と明記すべき。観光客向けの安心安全視点も組み込む。
駅周辺・一次産業・パブコメ 移動交通・コミュニティ [P14]	・「駅周辺のにぎわい」の意味の確認。農業・漁業・林業などの一次産業も明確化を。駅前開発に関する姿勢についての確認。 ・移動制限者向けなら「既存の公共交通」と限定すべき。利便性とコミュニティ維持の繋がりを明確に。「外出しやすい環境」の文字列表現を分かりやすく改善。
居場所・市民参画・進行管理 [P15]	・若者の「居場所」の明記。用語の意味が分かるような概要一覧の整備。住民一人ひとりが地域の担い手となる当事者性を重視した策定を。ビジョンの進捗・成果確認の手法と時期の明確化を要望。